



# いざなぎ学園だより

No.17 2022.10/26

## ◆令和4年度 淡路文化会館「いざなぎ学園」第17回講座

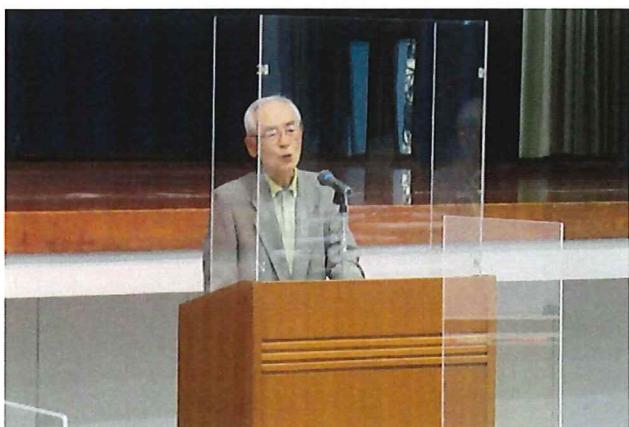
10月26日(水)、学年別講座5が行われました。

午後からは、サークル活動 鳥5 ふるさと学・民踊・美術・園芸がありました。

10/26 淡路文化会館創立50周年について 岡村 洋 館長



10/26 サークル鳥5 ふるさと学・民踊・美術・園芸



・「いざなぎ学園」開校の年に高校を卒業し、淡路島を離れました。今春、一年生として入学し、何か深い縁を感じます。今、思っていた以上に楽しく参加しています。これからも長く続くことを願っています。研修旅行、久しぶりに島外に行きます。楽しみです。

・館長さんのお話は大変面白く、開校式のイメージとはずいぶん違って、親しみを感じました。旅行についての説明も楽しくよく理解できました。当日、晴れますように祈ります。

・淡路文化会館の主要事業である「いざなぎ学園」は、学びと交流を通じて地域高齢者の生きがい創造に重要な役割を果たしていると考えます。一方で団塊の世代が70代半ばになり受講者の増加は厳しい状況が続きます。受講料、自治会費のアップも含めて、魅力ある講座、講師の検討をお願いします。

・50年前に淡路文化会館創立、その1年後に「いざなぎ学園」が開講されたことを初めて知りました。若い頃、近所の年配の方が「いざなぎ学園」に参加し、とても楽しく過ごされていたので、「自分も60歳になったら絶対に行きたい」と思っていました。とても懐かしく思います。「ポケットあわじ」もここで編集されていたとは知らなかったです。いつも楽しく読ませてもらっています。

・岡村館長の自己紹介よかったです。日頃、お目にかかる機会がなく良いタイミングでした。淡路文化会館の歴史もよくわかりました。研修旅行とても楽しみです。また、クーポン券も発行されるとのこと。ラッキーです。

・創立50周年おめでとうございます。いろいろなご苦労があったことと思います。これからも楽しい行事を期待します。四季ごとに景色を楽しめてもらっています。

・館長さんのお話、心地よく楽しく拝聴させていただきました。少し控えめで、で

もユーモアも添えられて、人となりが伝わってきました。研修旅行、久々なので楽しみにしています。

・創立 50 周年記念式典に巡り合い、貴重な経験をし、文化会館ができた経緯や歴史など紹介していただき、先人たちのご苦労により、今、このような素晴らしい講座に参加できることに感謝します。

・会館設置に至る経過、先人たちのご苦労がよくわかりました。今あることに感謝!

・創立 50 周年おめでとうございます。若い頃、ここでテニスをして楽しませていただきました。あの頃使っていた体育館やテニスコートは新しくオープンしたところだったんですね。知らなかつたです。

・益々の発展を願っております。創立 50 周年の年に「いざなぎ学園」に通えてうれしく思います。

・文化会館についてすごい歴史があることを知り、感心しました。この会館の行事に今、45歳になった娘と親子で参加したことを思い出します。

・私は昭和 53 年に桜を植えにきました。斜面の傾斜が急で怖かったことを思い出しました。館長さんのお話楽しかったです。

・淡路文化会館の歴史を初めて知りました。知らないことが多くて、50 年の歴史の重みを感じました。研修旅行と合わせて細かい打ち合わせもできてよかったです。

・文化会館建設当時、私は洲本在住の小学生でしたが、一宮町井手の祖父母宅に来た時、母から「淡路文化会館が神宮の上にできる」と聞きました。当時は上田町長さんがとても尽力されたとお聞きしました。

- ・50年の歩みを改めてご説明いただき、その歴史の一端を知ることができました。改めて学園の重要性に気づき、身の引き締まる思いです。ありがとうございました。
- ・館長さんは、いつも笑顔で私たちを見守ってくださり、うれしく思っております。宝塚出身、洲本在住とお聞きし、親しみを感じます。文化会館の歴史の長さに驚きました。50周年、100周年に向けて頑張ってくださいね。
- ・50年の歩みをお聞きし、いろいろ分かったことがありました。私の母も「いざなぎ学園」で学んでよかったことを何度も聞きました。パネルを見ていろいろな行事に感心しました。
- ・私の両親も近所の方々をお誘いし、80歳を越えて「いざなぎ学園」に通っていました。私も近くの友人と通うことにしました。学生時代を思い出させていただき、感謝しかありません。心が若返りました。ありがとうございます。
- ・淡路文化会館が県下で二番目に建設されたことにびっくりです。また陸上自衛隊の皆さんをはじめ、当時の関係者の方々に感謝です。これからも生涯学習、地域づくり活動の場として益々発展されることを祈念します。